



「暑い夏、熱い夏」

学校長 三瓶 徹

長い夏休みが終わり、子どもたちの声が響き渡る学校生活が戻ってきました。今年の夏も昨年と同じ猛暑といわれる「暑い夏」であるとともに、「熱い夏」でもあったと思います。

それはひとつに、リオデジャネイロオリンピックであります。それぞれの選手たちが、想像を絶するような厳しい練習や険しい道のりを乗り越えて、オリンピック出場の切符を手にしただけでなく、さらに、メダル獲得の重圧が選手たちから伝わってきました。すべての競技、選手から、結果よりも、私たちに勇気と感動を与えてくれました。

そして、もうひとつの「熱い夏」は、ひと夏にかけた一投一打に感動の物語を与えてくれる夏の高校野球大会であります。陽炎のある猛暑の中を選手たちは堂々と投げ、打ち、そしてベースや白球をめざし走る。一人ひとりの汗の輝きが宝石のように若い身体に流れ、栄光への道をめざし邁進する。そこには声がかれるまでの声援、手が痛くなるまでの拍手、時には涙、涙、……。私たちは画面の中の選手たちを応援、称賛することで、逆にその人たちから応援をもらっているのかもしれませんが。苦境をバネにして目標をめざす選手たちの姿を脳裏に、険しい道の向こうに必ず喜びがあることを信じて努力してほしいと思います。

さて、今年も3、4年生の子どもたちが、地域の夏祭りで「ソーラン節」を踊りました。本番では練習の成果を十分に発揮し、すばらしい演技を行うことができました。地域の方々からの温かい声援と拍手をいただき、子どもたちは大きな励みと自信につながったことと思います。

7月29日には、新井小を会場に新井小、上菅田小、笹山小の3校が集まって区水泳大会が行われました。本校からは8名の子どもたちが参加しました。一生懸命に泳ぐ姿、ベストを尽くし満足した笑顔、そして皆が協力して仲間を応援する姿がとても印象に残りました。その中から6年生の相澤耶弥さんが、8月25日に横浜国際プールで行われた市水泳大会に出場し、大舞台上で活躍しました。

子どもたち一人ひとりが、学校生活では味わえない「熱い夏」を体験したことと思います。この経験を今後に活かしてますます活躍してくれることを期待します。

笹山小の子どもたちがさらに伸びゆく場となるよう、教職員一同努めてまいりたいと思います。引き続き、保護者の皆様、地域の皆様のご支援とご協力をお願い申し上げます。